

議員提出議案第5号

愛の手帳3度・4度の医療費軽減を求める意見書

上記の議案を提出する。

令和8年9月15日

提 出 者

21番 本 間 まさよ

12番 菅 源太郎

1 番 道 場 ひでのり

7 番 本 多 夏 帆

10番 浜 田 けい子

武蔵野市議会議長 木崎 剛 殿

愛の手帳３度・４度の医療費軽減を求める意見書

現在、東京都では愛の手帳１度・２度の方の医療費は無料となっていますが、３度・４度の方は健常の方と同じ３割負担となっています。

令和５年度の東京都福祉保健基礎調査「障害者の生活実態」でも、知的障害者（愛の手帳３度：中度、４度：軽度）の方々の収入の低さは明確になっており、当事者の収入だけでは作業所の給食費が払えないばかりか、医療費さえ支払えず、保護者に頼るか、受診を控えるという実態になっています。

医療費は診察費や薬代だけでなく、各種申請に必要な診断書や、障害があることで病院側から個室入院を求められた場合の差額ベッド代など、多岐にわたっています。また、加齢とともに新しく病気が見つかり、通院・投薬も増え、今まで以上に医療費の負担が保護者にのしかかっています。また、親亡き後、今のままでは安心して病院に行くことすらできなくなるなど、先の見えない不安は一刻の猶予もないほど深刻なものになっています。

東京都以外の複数の県では、中度まで医療費を助成しており、都内でも杉並区が愛の手帳３度まで助成しています。また東京都では１８歳までの医療費は無料となる中で、収入の少ない３度・４度の負担軽減への期待も高まってきています。

よって武蔵野市議会は、東京都に対し、愛の手帳３度・４度の医療費軽減を開始するよう求めます。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出します。

令和８年９月 日

武蔵野市議会議長 木崎 剛

東京都知事 宛て